

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 295 『明鏡止水』 めいきょう しすい

< 意味 > 邪念がなく、澄み切って落ち着いた心の形容。

< 出典 > 『莊子』徳そうじ充とくじゅうふ符

表 言 : 明鏡止水の心境

用 例 : ただただ一切の思慮を捨ててしまつて妄想や邪念が、靈智をくもらすことのないようにしておくばかりだ。すなわちいわゆる明鏡止水のように、心を磨き澄ましておくばかりだ。

<勝海舟・氷川清話>

語 釈 : 「明鏡」は一点の曇りもない鏡のこと。「止水」は止まって、静かにたたえている水のこと。「鏡」は「けい」とも読む。

一 言 : 少し前になりますが、4月13日付けの goo 辞書四字熟語のランクでは1位になっていました。何かの事件とか出来事で当事者になった政治家などが、報道陣からインタビューを受けて「現在の心境は？」と尋ねられたときによく引用する言葉でもあります。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」